

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

○12月観光情報

【光の花の庭 フラワーファンタジー2022】

関東最大級500万球を超えるイルミネーションに彩られた幻想の世界。

夜景観光士が選ぶイルミネーションランキングでは6年連続で全国1位に輝きました。

100,000㎡の園内に500万球を超えるイルミネーションが瞬き、訪れる方々に毎年心温まる感動を与えています。

「光のバラ園」や「光の睡蓮」がパーク内を華やかに彩り、「光と花に彩られた幻想的なお城・フラワーキャッスル」もその鮮やかかつ繊細な光で訪れた人たちに大きな感動を与えます。神秘的な大藤棚も花びら一枚一枚をイルミネーションで再現しており、その美しさに、期間中は連日SNS等への写真の投稿が相次ぎます。

日 時:10月15日(土)～2月14日(火)

(平日)午後4時30分～午後8時30分 (予定)

(土・日・祝)午後4時30分～午後9時 (予定)

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

料 金:(夜間料金) 大人1,200円、小人600円 (予定)

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

(当面の間、シャトルバスの運行は休止となっております)

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約18分

【伊萬里の小品をもっと楽しむ -小皿・小鉢・茶碗】

取り皿や醤油皿など、使い方によってはさまざまなよばれ方をする小ぶりの皿と、向付とも称される小さな鉢、手のひらに収まるように作られた茶碗類、これはいずれも日常の食卓に欠かせないうつわです。遡って、一人ずつの膳で食事をするという形式であった江戸時代、各自の膳に収まるように作られたうつわは、現代の私たちが想像する以上に重要な食生活のアイテムでした。

今回の特集では、天塩皿ともよばれる小皿と人気の猪口を含めた小鉢類、蓋付茶碗などの展示の他、前回の展示に紹介できなかった品々、50点ほどを展示しております。

日 時:令和5(2023)年2月26日(日)まで

当面の間、時間短縮で開館しますので詳細につきましてはお問い合わせください。

午前10時～午後4時30分(最終入場は午後4時まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)、年末年始(12月27日～1月2日)

場 所:栗田美術館(駒場町)

入館料:一般1,250円(1,000円)/小・中・高500円(400円) ()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩10分

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

東武伊勢崎線足利市駅より車で約15分
北関東自動車道足利ICより約15分

【金山神社大祭(吹子祭)】

昔ながらの鍛冶技法の伝統を後世に伝える貴重な儀式「吹子祭」が、足利市福富新町の鉄工団地内の一角にある金山神社で厳かに行われます。この神社の祭神は鉱山・金属業を司る神様の金山彦命かなやまひこのみことであり、本宮は岐阜県垂井町にある南宮大社です。大正13年に当時の関係者が、そのご分体を足利市伊勢町の飯成神社境内に祀りましたが、その後、昭和49年に現在地に遷宮しました。

毎年12月、年1回の大祭では、鍛冶職にとってもっとも大切な鞆ふいごに感謝し、鉄工の神様に鉄工関係者の安全と繁栄を祈願します。足利鉄工協同組合・鉄工団地協同組合員から選ばれた5人の鍛冶鍛錬者たち(奉行:見分役。横座:親方[小槌をもち、指図する役]、先手2名:大槌により材料から形を作る役、鞆ふいご:炉の管理役)が烏帽子、直垂白装束をまとい、力を合わせてひとつの新しい鉄の輪を鍛え作ります。会場には「トンテンカン、トンテンカン」と金床に金槌を打ちつける音が響きわたります。20分ほどで鉄の輪が完成し、代々続く鉄の輪につなぎ、新たな鎖として神社に奉納します。

現時点では例年通りに開催される予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大状況により、規模縮小等、予定の変更もございます。

日 時:12月8日(木)

大祭挙行(式典・奉納) 午前10時～

場 所:金山神社(福富新町726 足利鉄工団地敷地内)

交 通:東武足利市駅より車で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約30分

駐車場:普通車8～10台

問合先:足利鉄工業協同組合事務局(足利商工会議所北事務所内2階)

☎0284-42-7545

【悪口祭り】

京都の鞍馬山、奈良の信貴山と並ぶ日本三大毘沙門天のひとつ、大岩山毘沙門天では、大晦日から元旦未明にかけて恒例の「悪口祭り」が開催されます。

この祭りは、一年間に積もった鬱憤を発散し、すがすがしい気分新年を迎えられるよう江戸時代末期(慶応年間)に始まったもので、日本奇祭の一つとして知られています。

また、悪口祭りが始まったとされる江戸末期当時は疫病で亡くなる人が多く、厄病退散を願って行われたとの言い伝えもあります。(大岩山毘沙門天公式ホームページをご参照ください)。

大晦日の晩から元旦の未明にかけて、修験者の法螺貝の音に先導され、星空を仰ぎ、「バ

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

カヤろう」などと大声を掛け合いながら山頂の大岩山毘沙門天本堂を目指します。ただし、悪口に「ぼう」のつく言葉(例:びんぼう・どろぼう等)は禁句となっています。

この悪口祭りでは、信徒が悪口を言いながら山道を登って行く際、暗い山道を提灯で照らして行列を作っていたことから、提灯行列とも呼ばれています。

当日は大きな声を競う「悪口大声コンクール(参加無料)」も開催されます。

新型コロナウイルス感染症の状況により、フェイスシールド等の対策を講じながら慎重に開催するとしています。

日 時:12月31日(土) (毎年同日開催)

悪口祭り^{あくたい}大声コンクール 午後10時受付開始 午後10時30分開始

(旧サンフィールド駐車場にて)

悪口祭り^{あくたい}の提灯行列 午後11時～

場 所:大岩山毘沙門天(大岩山多聞院最勝寺 大岩町570)

交 通:東武伊勢崎線足利市駅より車で約20分

JR両毛線足利駅より車で約25分

JR両毛線山前駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約30分

北関東自動車道太田・桐生ICより約40分

問合先:大岩山多聞院最勝寺 ☎0284-21-8885

体 験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をお願い致しております。現在、実演は中止をしております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214